

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 大山町の西部に位置し、水稻を中心に大豆、白ねぎ、梨、畜産等多様な品目で営農が行われている中間農業地域。
- 後継者不在の農地が多く、将来の農地集積に備えて担い手の経営強化を図る必要がある地区。

【支援内容・背景】

- 地区の担い手が今後も農地の引き受けに対応しつつ安定的に地域を支えていくためには、経営基盤の強化に向けた支援が必要。
- 助成対象者は地区の中心経営体として、水稻に加えて園芸作物(白ねぎ、ミニトマト)の複合経営に取り組み、経営の高度化を図っている。また、更なる経営発展に向けて生産コストの低減や作業の効率化を志向している。そのため、地区における経営力強化の取組モデルとして支援。



助成対象者「農事組合法人大山カラス天狗」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成26年 法人設立 (当初は作業受託組織)
- 平成28年 農地を約24ha集積し、法人として本格的に水稻と白ネギの生産を開始
- 平成29年 経営改善計画の認定
- 令和3年 鳥取県優秀経営農林水産事業者表彰受賞

《事業活用の背景》

○ 高齢化により維持の難くなった地域の農地を引き受けるために水稻育苗数の増加と、経営力強化のために高収益園芸作物の規模拡大による収益確保が必要。そのため、水稻育苗及びミニトマト栽培に活用する園芸施設と、栽培の安定化・効率化に資する環境制御装置・灌水設備を導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 付加価値額 22百万円
- 経営コスト 173千円
- 経営面積 50.68 ha (水稻、大豆、白ねぎ、ミニトマト等)

《事業による整備内容》

- モニタリングシステム付ビニールハウス1棟 (360㎡)
事業費 6,038千円 (国費 1,646千円)
- 井戸ポンプ 1基
事業費 3,763千円 (国費 1,016千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 付加価値額 46百万円 (209%)
- 経営コスト 147千円 (85%)
- 経営面積 92 ha (181%) (水稻、大豆、白ねぎ、ミニトマト等)

事業の
効果

《対象者》 ビニールハウスの整備によって水稻育苗数が増え、規模拡大につながった。また、灌水設備の自動化によって労力と経営コストが削減され、付加価値額が拡大した。

《地区》 助成対象者の経営面積拡大により、地域内の農地集約化が進展した。